

# 令和5年度(第86回)通常総会資料

日時 令和5年2月15日(水曜日) 10:30~11:45  
場所 東京都千代田区一ツ橋 2-1-1  
如水会館2階 オリオンルーム

			頁
【監査報告】			1
【令和4年度の総括と令和5年度の目標】			2
【決議事項】			
第1号議案	令和4年度決算報告承認の件	定款第39条第1項および第2項	3
第2号議案	令和5年度役員選任の件	定款第23条	10
第3号議案	名誉会員委嘱の件	定款第5条第5項	11
【報告事項】			
報告1	令和4年度事業報告	定款第39条第1項および第2項	12
	1. 令和4年度通常総会報告		12
	2. 会員動向報告		12
	3. 事業報告(公1:編集出版事業)		13
	4. 事業報告(公2:研究会事業)		13
	5. 事業報告(公3:表彰事業)		13
	6. 事業報告(他1:共益事業)		13
報告2	令和5年度事業計画	定款第38条	25
報告3	令和5年度収支予算	定款第38条	28
報告4	永年会員昇格者	定款第5条第4項	31
【参考資料】	(付表1) 令和4年度一般正味財産の構成表		32



公益社団法人 有機合成化学協会

令和5年2月15日

担当者	事務局長	会長
		

## 【監査報告】

### 監査報告書

私たち監事は、令和4年1月1日から令和4年12月31日までの事業年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

#### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

#### 2 監査意見

##### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

##### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和5年1月18日

公益社団法人有機合成化学協会

監事 砂塚 敏明

砂塚 敏明 

公益社団法人有機合成化学協会

監事 満田 勝

満田 勝 

公益社団法人有機合成化学協会

監事 竹之内 一弥

竹之内 一弥 

以上

## 令和4年度の総括と令和5年度の目標

令和4年度における各事業の概要、法人管理・運営状況と令和5年度の目標について説明する。

### 【令和4年度の課題と取り組み】

事業規模をコロナ禍前のレベルに少しでも戻したいという目標を立てていたが、本部・支部の協力により、これについては一定の目標を達成できた。

ただし、通常総会と併催事業（表彰式、受賞講演）は会場参加の受入れができず、本会として初めて完全オンライン形式で実施となった。

理事会内に「多様性推進WG」と「既存事業見直しWG」を設置し、この問題への取り組みを実施した。

また、会長と支部幹事との直接対話を行う「支部キャラバン」を全支部で実施したが、本部・支部間の意思疎通をこれまで以上に図ることができたという点で、とても有意義であった。

各支部に配備したZoomは300名までのイベント機能を追加したことにより、昨年以上に多くの活用報告があった。

### 【編集・出版事業】

有機合成化学協会誌は予定通り12号を刊行した。特集号については、5月号では「金属錯体が拓く有機合成」と題し11編の総合論文を、11月英文特集号では11編の総合論文をそれぞれ掲載した。また、出版事業は、一昨年秋の「有機合成のための新触媒反応101」を発行以来、新規の出版は行っていない。協会誌の特集広告については「受託合成」以外に「クロマトグラフィー関連」を取り上げ、増収を達成した。

### 【研究会事業】

新型コロナウイルス感染状況をつねに注視しながら、対面形式での事業実施に向けて積極的に取り組んだ。

◆「有機合成シンポジウム」は、春季（第120回）はオンライン形式となったが、秋季（第121回）は早稲田大学にて対面形式で実施した。

◆「有機合成化学講習会」は、定員の少人数制と集中講義スタイルで12月に対面形式で実施した。参加者ひとりひとりに対し個別の質問対応を行うなど、これまでの講習会とは一線を画す内容を取り入れた。

◆「AI研究部会」、「ニューモダリティ研究部会」は公開講演会の実施はできず、勉強会のみの実施となった。ただ両部会とも12月に実施した勉強会ではオンライン

ではなく対面形式で実施した。

◆「第38回有機合成化学セミナー(九州・山口支部主催)」は、Mukaiyama Award、Lectureship、有機合成化学奨励賞の各受賞講演と、招待講演、ポスターセッション（98件）を盛り込み、合宿・対面形式で9月に実施した。

その他、支部主催の各事業は対面、ハイブリッド、オンラインのみの各形式でその都度状況に応じて実施した。

### 【表彰事業】

令和4年度も、本会の表彰が揃い、内容的に非常に高いレベルを維持した。特別賞、協会賞、奨励賞の3賞、高砂香料国際賞「野依賞」、研究企画賞、Mukaiyama Award、Lectureshipの各賞を例年通り実施した。企業冠賞は昨年より1社減の4賞となった。

### 【相互交流】

ゆうごう会は昨年同様に実施できなかったが、新春特別フォーラム（講演の部のみ）とYUGOKAFeは対面形式で実施した。

### 【財務環境】

令和4年度は、収益113.3百万円、費用117.2百万円、収支▲3.9百万円となった。

### 【令和5年度目標】

新型コロナウイルス感染症終息の出口がまだ見えてこないが、感染防止策を施しながら対面開催の復活を進めていきたい。新春特別フォーラムは定員の上限を設け3年ぶりに賀詞交換会（着席スタイル）も実施する。通常総会是对面形式に戻し、続く併催事業は会場参加の受け入れとオンライン同時配信を予定している。協会誌については以前からカラー化の実施を望む声があったが、冊子全体では費用面からみても厳しいことから、電子版PDFのカラー化を4月号からスタートする。

7月には創立80周年記念事業国際シンポジウム、記念式典を予定している、さらに記念出版本の刊行を(株)化学同人の協力を得て進めている。

支部キャラバンは本部・支部間のコミュニケーションを緊密に連携させる大事な機会なので今後も実施していく。多様性の推進は今後も継続的に活動していく予定。

その他各種事業や会議はオンラインの活用を進めつつも、本会ならではの「Face to Face」の交流活動をさまざまな形で展開していき、協会のさらなる活性化を図っていきたい。

【決議事項】

第1号議案 令和4年度決算報告承認の件

定款39条第1項および第2項に定めるところにより、令和5年1月度理事会で承認されたp.3~9に示す諸表のとおり令和4年度決算書類を承認する。

表1・1 令和4年度正味財産増減計算書

(令和4年1月1日から令和4年12月31日まで)

(単位：円)

科目	R4決算 A	R4予算 B	R3決算 C	A-B	A-C
【一般正味財産増減の部】					
1. 経常増減の部					
経常収益	113,275,536	130,853,516	100,207,344	▲ 17,577,980	13,068,192
特定資産運用益					
特定資産受取利息	824,510	805,500	784,995	19,010	39,515
退職特定資産受取利息	1,034	7,000	582	▲ 5,966	452
受取会費					
正会員費受取会費	63,796,500	64,747,500	64,642,000	▲ 951,000	▲ 845,500
事業収益	43,745,374	56,860,700	30,984,402	▲ 13,115,326	12,760,972
編集出版事業収益	15,561,672	12,926,700	13,144,387	2,634,972	2,417,285
研究会事業収益	19,833,702	35,834,000	10,040,015	▲ 16,000,298	9,793,687
表彰事業収益	8,350,000	8,100,000	7,800,000	250,000	550,000
受取寄付金	4,432,997	6,350,000	3,709,547	▲ 1,917,003	723,450
共催分担保	930,000	1,150,000	730,000	▲ 220,000	200,000
国際賞基金	2,213,738	4,000,000	2,090,961	▲ 1,786,262	122,777
Mukaiyama Award基金	1,259,259	1,200,000	888,586	59,259	370,673
受取一般寄付金	30,000	0	0	30,000	30,000
雑収益	475,121	2,082,816	85,818	▲ 1,607,695	389,303
受取利息	774	2,816	818	▲ 2,042	▲ 44
雑収益	60	50,000	85,000	▲ 49,940	▲ 84,940
懇親会参加料収益	474,287	2,030,000	0	▲ 1,555,713	474,287
経常費用	117,203,894	141,358,109	102,968,249	▲ 24,154,215	14,235,645
事業費および管理費	117,203,894	141,358,109	102,968,249	▲ 24,154,215	14,235,645
編集出版事業費	23,082,505	24,895,272	22,310,844	▲ 1,812,767	771,661
研究会事業費	22,649,613	36,732,314	10,840,522	▲ 14,082,701	11,809,091
表彰事業費	10,710,152	13,502,377	10,764,859	▲ 2,792,225	▲ 54,707
給料手当	28,938,856	29,040,142	28,554,282	▲ 101,286	384,574
アルバイト費	2,620,399	2,560,000	2,505,002	60,399	115,397
退職給付費用	3,162,179	3,161,146	5,900,582	1,033	▲ 2,738,403
その他人件費(福利厚生費)	6,256,431	6,357,070	5,994,897	▲ 100,639	261,534
懇親会費	1,066,909	3,880,000	0	▲ 2,813,091	1,066,909
会議費	1,027,043	1,335,000	678,859	▲ 307,957	348,184
旅費交通費	1,753,499	3,465,000	509,492	▲ 1,711,501	1,244,007
通信費	632,732	1,346,500	666,325	▲ 713,768	▲ 33,593
什器備品費	0	200,000	384,230	▲ 200,000	▲ 384,230
事務用品・リース費	1,447,711	2,000,000	1,336,925	▲ 552,289	110,786
水道光熱費	166,678	290,000	124,104	▲ 123,322	42,574
事務所賃借料	4,928,988	4,928,988	4,826,890	0	102,098
諸謝金	1,210,000	1,200,000	1,210,000	10,000	0
雑費(税・手数料・会費・IT)	7,550,199	6,464,300	6,360,436	1,085,899	1,189,763
当期経常増減額	▲ 3,928,358	▲ 10,504,593	▲ 2,760,905	6,576,235	▲ 1,167,453
2. 経常外増減の部					
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産増減額					
一般正味財産期首残高	303,419,649	303,419,649	306,180,554	0	▲ 2,760,905
一般正味財産期末残高	299,491,291	292,915,056	303,419,649	6,576,235	▲ 3,928,358
【指定正味財産増減の部】					
1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金					
特定資産運用益計	4,000,064	4,000,050	4,000,049	14	15
特定資産受取利息	64	50	49	14	15
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 2,290,715	▲ 4,000,000	▲ 2,013,984	1,709,285	▲ 276,731
当期指定正味財産増減額	1,709,349	50	1,986,065	1,709,299	▲ 276,716
指定正味財産期首残高	8,271,541	8,271,541	6,285,476	0	1,986,065
指定正味財産期末残高	9,980,890	8,271,591	8,271,541	1,709,299	1,709,349
2. Mukaiyama Award基金					
特定資産運用益計	56	100	65	▲ 44	▲ 9
特定資産受取利息	56	100	65	▲ 44	▲ 9
受取寄付金	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 1,259,259	▲ 1,200,000	▲ 888,586	▲ 59,259	▲ 370,673
当期指定正味財産増減額	▲ 1,259,203	▲ 1,199,900	▲ 888,521	▲ 59,303	▲ 370,682
指定正味財産期首残高	5,493,899	5,493,899	6,382,420	0	▲ 888,521
指定正味財産期末残高	4,234,696	4,293,999	5,493,899	▲ 59,303	▲ 1,259,203
【正味財産】					
正味財産期末残高	313,706,877	305,480,646	317,185,089	8,226,231	▲ 3,478,212

表 1・2 令和 4 年度正味財産増減内訳表(1/3)

(令和4年1月1日から令和4年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
【一般正味財産増減の部】							
1. 経常増減の部							
経常収益計	15,562,094	20,764,246	11,296,541	50,399,235	3,263,895	11,989,525	113,275,536
特定資産運用益	422	544	823,544				824,510
編集出版特定資産受取利息	422						422
研究会特定資産受取利息		544					544
表彰特定資産受取利息			823,544				823,544
退職特定資産受取利息						1,034	1,034
受取会費				50,399,235	1,913,895	11,483,370	63,796,500
個人会員費受取会費				25,704,230	976,110	5,856,660	32,537,000
法人会員費受取会費				23,044,300	875,100	5,250,600	29,170,000
団体会員費受取会費				126,400	4,800	28,800	160,000
学生会員費受取会費				1,524,305	57,885	347,310	1,929,500
事業収益	15,561,672	19,833,702	7,000,000		1,350,000		43,745,374
編集出版事業収益	15,561,672						15,561,672
会誌事業収益	3,385,200						3,385,200
広告事業収益	9,072,250						9,072,250
別冊事業収益	36,300						36,300
会誌関係雑収益	56,180						56,180
単行本印税収益	287,025						287,025
複写権使用料収益	2,724,717						2,724,717
研究会事業収益		19,833,702					19,833,702
シンポジウム事業収益		14,906,702					14,906,702
講習会事業収益		3,921,000					3,921,000
懇談会事業収益		1,006,000					1,006,000
見学会事業収益							
表彰事業収益			7,000,000		1,350,000		8,350,000
企業冠賞事業収益			7,000,000				7,000,000
研究企画賞事業収益					1,350,000		1,350,000
その他表彰事業収益							
寄付金収益		930,000	3,472,997		0	30,000	4,432,997
受取寄付金		930,000	3,472,997			30,000	4,432,997
雑収益						475,121	475,121
受取利息						774	774
雑収益						60	60
懇親会参加料収益						474,287	474,287

表 1・3 令和 4 年度正味財産増減内訳表(2/3)

(令和4年1月1日から令和4年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
経常費用	42,191,263	46,158,129	16,287,554	0	2,952,555	9,614,393	117,203,894
事業費	42,191,263	46,158,129	16,287,554		2,952,555		107,589,501
編集出版事業費	23,082,505						23,082,505
印刷製本費	11,125,972						11,125,972
用紙費	3,397,075						3,397,075
原稿料・校正費	533,386						533,386
編集費	245,468						245,468
送達費	6,706,079						6,706,079
別冊作成費	212,410						212,410
電子出版費	862,115						862,115
研究会事業費		22,649,613					22,649,613
シンポジウム費		14,948,339					14,948,339
講習会費		2,099,459					2,099,459
懇談会費		2,725,302					2,725,302
見学会事業費							
研究会議費		231,790					231,790
事務委託費		2,504,723					2,504,723
支払寄付金		140,000					140,000
表彰事業費			10,605,096		105,056		10,710,152
表彰事業費			1,550,355				1,550,355
企業冠賞費用			5,599,124				5,599,124
研究企画賞費					105,056		105,056
国際賞費用			2,213,738				2,213,738
Mukaiyama Award事業費			1,241,879				1,241,879
給料手当	10,126,285	11,574,386	2,893,596		1,450,705		26,044,972
アルバイト費	1,018,811	1,164,506	291,126		145,956		2,620,399
退職給付費用	1,106,511	1,264,747	316,187		158,520		2,845,965
その他人件費（福利厚生費）	2,189,251	2,502,321	625,581		313,635		5,630,788
会議費	181,848	272,801	60,616		30,335		545,600
旅費交通費	281,988	423,025	93,996		47,040		846,049
通信費	172,055	258,107	57,352		28,702		516,216
什器備品費							
事務用品・リース費	434,271	651,472	144,757		72,444		1,302,944
水道光熱費	50,000	75,008	16,667		8,341		150,016
事務所賃借料	1,478,552	2,218,050	492,851		246,647		4,436,100
雑費（税・手数料・会費・IT）	2,069,186	3,104,093	689,729		345,174		6,208,182

表 1.4 令和 4 年度正味財産増減内訳表(3/3)

		(令和4年1月1日から令和4年12月31日まで)				(単位：円)		
科 目		公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
		公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
73	管理費						9,614,393	9,614,393
74	給料手当						2,893,884	2,893,884
75	退職給付費用						316,214	316,214
76	その他人件費（福利厚生費）						625,643	625,643
77	懇親会費用						1,066,909	1,066,909
78	会議費						481,443	481,443
79	旅費交通費						907,450	907,450
80	通信費						116,516	116,516
81	什器備品費							
82	事務用品・リース費						144,767	144,767
83	水道光熱費						16,662	16,662
84	事務所賃借料						492,888	492,888
85	諸謝金						1,210,000	1,210,000
86	雑費（税・手数料・会費・IT）						1,342,017	1,342,017
87	当期経常増減額	▲ 26,629,169	▲ 25,393,883	▲ 4,991,013	50,399,235	311,340	2,375,132	▲ 3,928,358
88	2. 経常外増減の部							
89	経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
90	計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
91	当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
92	3. 一般正味財産増減額							
93	一般正味財産期首残高							303,419,649
94	一般正味財産期末残高							299,491,291
95	当期一般正味財産増減額							▲ 3,928,358
96	【指定正味財産増減の部】							
97	1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金							
98	指定正味財産運用益			1,709,349				1,709,349
99	特定資産受取利息			64				64
100	受取寄付金			4,000,000				4,000,000
101	一般正味財産への振替額			▲ 2,290,715				▲ 2,290,715
102	指定正味財産期首残高			8,271,541				8,271,541
103	指定正味財産期末残高			9,980,890				9,980,890
104	2. Mukaiyama Award基金							
105	指定正味財産運用益			▲ 1,259,203				▲ 1,259,203
106	特定資産受取利息			56				56
107	受取寄付金							
108	一般正味財産への振替額			▲ 1,259,259				▲ 1,259,259
109	指定正味財産期首残高			5,493,899				5,493,899
110	指定正味財産期末残高			4,234,696				4,234,696
111	【正味財産期末残高】							
112	正味財産期末残高							313,706,877

【参考】表 1.5 主な科目の対予算・対前年度決算比較

科 目		R4 年度予算との差額(千円)		R3 年度決算との差額(千円)	
		収益	費用	収益	費用
受取会費収入		▲951	—	▲845*1	—
事業	編集・出版	2,635*2	▲1,813	2,417*2	772
	研究会	▲16,000*3	▲14,083*3	9,794*4	11,809*4
	表彰	250	▲2,792	550	▲55
	会議費・旅費・通信費	—	▲2,733	—	1,559*5
	雑費	—	1,086*6	—	1,190

\*1 受取会費減収内訳：個人▲807千円；法人+60千円；学生▲99千円

\*2 協会誌複写権使用料収益 2,725千円による増収。

\*3 新型コロナウイルス感染症の影響による研究会事業の中止、規模縮小等による減少。

\*4 研究会事業の実施回復による増加。

\*5 支部キャラバン実施（会長訪問；意見交換会）による旅費交通費の増加。

\*6 WEB開催に必要なIT関連費の増加と決済手数料の増加。

表 1・6 令和 4 年度貸借対照表

令和4年12月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	85,299,878	88,204,387	▲ 2,904,509
未収収益	522,548	407,620	114,928
前払金	418,755	164,823	253,932
仮払金	120,960	270,266	▲ 149,306
流動資産合計	86,362,141	89,047,096	▲ 2,684,955
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
編集出版事業特定資産	23,322,700	24,322,278	▲ 999,578
研究会事業特定資産	28,521,733	29,521,189	▲ 999,456
表彰事業特定資産	202,038,133	203,214,589	▲ 1,176,456
国際賞基金	9,980,890	8,271,541	1,709,349
Mukaiyama Award基金	4,234,696	5,493,899	▲ 1,259,203
退職給付引当特定資産	33,445,012	30,282,833	3,162,179
特定資産合計	301,543,164	301,106,329	436,835
(2) その他固定資産			
差入保証金	4,698,000	4,698,000	0
電話加入権	127,284	127,284	0
その他固定資産合計	4,825,284	4,825,284	0
固定資産合計	306,368,448	305,931,613	436,835
資産合計	392,730,589	394,978,709	▲ 2,248,120
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,724,650	732,977	991,673
前受金	41,518,733	44,902,100	▲ 3,383,367
預り金	1,885,317	1,638,524	246,793
仮受金	450,000	237,186	212,814
流動負債合計	45,578,700	47,510,787	▲ 1,932,087
2. 固定負債			
退職給付引当金	33,445,012	30,282,833	3,162,179
固定負債合計	33,445,012	30,282,833	3,162,179
負債合計	79,023,712	77,793,620	1,230,092
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国際賞受託金	9,980,890	8,271,541	1,709,349
Mukaiyama Award基金	4,234,696	5,493,899	▲ 1,259,203
指定正味財産合計	14,215,586	13,765,440	450,146
(うち特定資産への充当額)	(14,215,586)	(13,765,440)	-(▲ 450,146)
2. 一般正味財産	299,491,291	303,419,649	▲ 3,928,358
正味財産合計	313,706,877	317,185,089	▲ 3,478,212
負債及び正味財産合計	392,730,589	394,978,709	▲ 2,248,120

表 1・7 令和 4 年度貸借対照表内訳表

令和4年12月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			その他事業会計	法人会計	合計
	編集・出版事業会計	研究会事業会計	表彰事業会計			
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金					85,299,878	85,299,878
未収収益		495,882	26,666		0	522,548
前払金					418,755	418,755
仮払金			120,960		0	120,960
流動資産合計	0	495,882	147,626	0	85,718,633	86,362,141
2. 固定資産						
(1) 特定資産						
編集出版事業特定資産	23,322,700					23,322,700
研究会事業特定資産		28,521,733				28,521,733
表彰事業特定資産			202,038,133			202,038,133
国際賞基金			9,980,890			9,980,890
Mukaiyama Award 基金			4,234,696			4,234,696
退職給付引当特定資産					33,445,012	33,445,012
特定資産合計	23,322,700	28,521,733	216,253,719	0	33,445,012	301,543,164
(2) その他固定資産						
差入保証金					4,698,000	4,698,000
電話加入権					127,284	127,284
その他固定資産合計	0	0	0	0	4,825,284	4,825,284
固定資産合計	23,322,700	28,521,733	216,253,719	0	38,270,296	306,368,448
資産合計	23,322,700	29,017,615	216,401,345	0	123,988,929	392,730,589
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金		22,550			1,702,100	1,724,650
前受金		701,233			40,817,500	41,518,733
預り金					1,885,317	1,885,317
仮受金					450,000	450,000
流動負債合計	0	723,783	0	0	44,854,917	45,578,700
2. 固定負債						
退職給付引当金					33,445,012	33,445,012
固定負債合計	0	0	0	0	33,445,012	33,445,012
負債合計	0	723,783	0	0	78,299,929	79,023,712
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
国際賞受託金			9,980,890			9,980,890
Mukaiyama Award 基金			4,234,696			4,234,696
指定正味財産合計			14,215,586			14,215,586
(うち特定資産への充当額)			(14,215,586)			(14,215,586)
2. 一般正味財産	23,322,700	28,293,832	202,185,759	0	45,689,000	299,491,291
正味財産合計	23,322,700	28,293,832	216,401,345	0	45,689,000	313,706,877
負債及び正味財産合計	23,322,700	29,017,615	216,401,345	0	123,988,929	392,730,589

表 1・8 附属明細書

(単位：円)

1. 特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	編集出版事業特定資産	24,322,278	422	1,000,000	23,322,700
	研究会事業特定資産	29,521,189	544	1,000,000	28,521,733
	表彰事業特定資産	203,214,589	823,544	2,000,000	202,038,133
	国際賞基金	8,271,541	4,000,064	2,290,715	9,980,890
	Mukaiyama Award 基金	5,493,899	56	1,259,259	4,234,696
	退職給付引当特定資産	30,282,833	3,162,179		33,445,012
	特定資産計	301,106,329	7,986,809	7,549,974	301,543,164

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	30,282,833	3,162,179	0	0	33,445,012

表 1・9 財産目録

令和4年12月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等		使用目的等	金額 (円)
1 【流動資産】				
2 預金	振替貯金		運転資金	3,780,992
3 普通預金	みずほ銀行神田支店		運転資金	27,902,063
4 普通預金	みずほ銀行神田支店		運転資金	6,270,225
5 普通預金	みずほ銀行神田支店		運転資金	50,001
6 普通預金	みずほ銀行神田支店		運転資金	17,172,051
7 普通預金	三井住友信託銀行本店営業部		運転資金	2,253,742
8 普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店		運転資金	142,258
9 普通預金	北海道支部		運転資金	1,016,203
10 普通預金	東北支部		運転資金	1,122,787
11 普通預金	関東支部		運転資金	7,265,025
12 普通預金	東海支部		運転資金	2,215,595
13 普通預金	関西支部		運転資金	5,432,287
14 普通預金	中国四国支部		運転資金	4,755,756
15 普通預金	九州山口支部		運転資金	5,920,893
16 未収収益				522,548
17 前払金				418,755
19 仮払金				120,960
20 流動資産合計				86,362,141
21 【固定資産】				
22 特定資産				
23 編集出版事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	2,093,926
24 普通預金	みずほ銀行神田支店		公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	1,228,774
25 定期預金	みずほ銀行神田支店		公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	10,000,000
26 定期預金	三井住友信託銀行本店営業部		公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	10,000,000
27 研究会事業特定資産	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	3,521,733
28 定期預金	みずほ銀行神田支店		公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	25,000,000
29 表彰事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	1,710,280
30 普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店		公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	7,327,853
31 定期預金	三井住友信託銀行本店営業部		公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	3,000,000
32 定期預金	三井住友信託銀行本店営業部		公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000
33 地方債	東京都公募公債第786回		公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	50,000,000
34 地方債	千葉県平成29年度第3回公募公債		公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000
35 預け金	野村證券		公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	100,000,000
36 国際賞基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	9,980,890
37 Mukaiyama Award基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	4,234,696
38 退職給付引当資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部		6,285,012
39 定期預金	三井住友信託銀行本店営業部			27,160,000
40 その他固定資産	差入保証金			4,698,000
41 電話加入金				127,284
42 固定資産合計				306,368,448
43 資産合計				392,730,589
44 【流動負債】				
45 未払金				1,724,650
46 前受金				41,518,733
47 預り金				1,885,317
48 仮受金				450,000
49 流動負債合計				45,578,700
50 【固定負債】				
51 退職給付引当金				33,445,012
52 固定負債合計				33,445,012
53 負債合計				79,023,712
54 正味財産				313,706,877

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に基づき一定額以下は費用処理している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンスリース：リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
編集出版事業特定資産	24,322,278	422	1,000,000	23,322,700
研究会事業特定資産	29,521,189	544	1,000,000	28,521,733
表彰事業特定資産	203,214,589	823,544	2,000,000	202,038,133
国際賞基金	8,271,541	4,000,064	2,290,715	9,980,890
Mukaiyama Award 基金	5,493,899	56	1,259,259	4,234,696
退職給付引当特定資産	30,282,833	3,162,179	0	33,445,012
合 計	301,106,329	7,986,809	7,549,974	301,543,164

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
編集出版事業特定資産	23,322,700	0	23,322,700	
研究会事業特定資産	28,521,733	0	28,521,733	
表彰事業特定資産	202,038,133	0	202,038,133	
国際賞基金	9,980,890	9,980,890	0	
Mukaiyama Award 基金	4,234,696	4,234,696	0	
退職給付引当特定資産	33,445,012	0	0	33,445,012
合 計	301,543,164	14,215,586	253,882,566	33,445,012

### 4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
地方債	70,000,000	68,990,960	▲ 1,009,040
合 計	70,000,000	68,990,960	▲ 1,009,040

### 5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
国際賞事業費計上による振替額	2,290,715
Mukaiyama Award 事業費計上による振替額	1,259,259
合 計	3,549,974

## 第2号議案 令和5年度役員選任の件

本総会の終結をもって役員14名が退任、1名が辞任となるので、定款第23条に定めるところにより、役員候補者選出委員会において選出された役員候補者(表2)を参考にして、退任役員の後任として新任および重任理事および監事(太字表記16名)を選任する。また、定款第23条第2項に基づき、会長候補者、副会長候補者および常務理事候補者(太字下線表記4名)を選出する。なお、この4名は2月度理事会においてそれぞれ会長、副会長、常務理事として選任される予定である。

表2 令和4年度役員および令和5年度役員候補者対照表(敬称略)

役職区分	令和5年度				所属
	令和4年度(参考)		新任候補	重任候補	
	退任	留任			
会長・代表理事	秋山 隆彦		<b>生頼 一彦</b>		日産化学(株)
副会長・業務執行理事	宮田 博之			<b>袖岡 幹子</b>	理化学研究所
副会長・業務執行理事		須貝 威			慶應義塾大学
副会長・業務執行理事	生頼 一彦 <sup>*1</sup>			<b>大野 充</b>	(株)ダイセル
常務理事(事務局長)	-	-	<b>永井 一郎</b>		有機合成化学協会
理事(編集担当)		荒井 孝義			千葉大学
理事(編集担当)	生越 専介		<b>大森 建</b>		東京工業大学
理事(事業担当)		高尾 賢一			慶應義塾大学
理事(事業担当)	長澤 和夫		<b>三谷 晃</b>		日本曹達(株)
理事		青木 一真			第一三共(株)
理事		朝倉 光博			(株)ナード研究所
理事		江口 久雄			東ソー・ファインケム(株)
理事		古内 剛			Meiji Seika ファルマ(株)
理事	森 敦紀		<b>井上 将行</b>		東京大学
理事	袖岡 幹子		<b>垣内 史敏</b>		慶應義塾大学
理事	大野 充		<b>高柳 大</b>		味の素(株)
理事(北海道支部)	谷野 圭持		<b>市川 聡</b>		北海道大学
理事(東北支部)		服部徹太郎			東北大学
理事(関東支部)		草間 博之			学習院大学
理事(関東支部)	南雲 紳史			<b>長澤 和夫</b>	東京農工大学
理事(東海支部)	大井 貴史		<b>柴田 哲男</b>		名古屋工業大学
理事(関西支部)		白川 英二			関西学院大学
理事(関西支部)	竹本 佳司		<b>深瀬 浩一</b>		大阪大学
理事(中国四国支部)	今田 泰嗣		<b>依馬 正</b>		岡山大学
理事(九州山口支部)		桑野 良一			九州大学
監事	砂塚 敏明		<b>千田 憲孝</b>		慶應義塾大学
監事	竹之内 一弥		<b>家田 成</b>		アステラス製薬(株)
監事		満田 勝			中部大学
人数	15	12	13	3	

\*1 会長新任候補により辞任

### 第3号議案 名誉会員委嘱の件

定款第5条第5項および名誉会員の委嘱に係る内規2.(2)の定めに基づき、令和4年12月度理事会で名誉会員としての推薦を決議した次の会員に、名誉会員を委嘱する。

表3-1 令和5年度名誉会員推挙候補者(敬称略)

氏名(年齢)	生年月日	称号・勤務先	推挙の事由
鳥居 滋 (90)	1932.6.25	岡山大学名誉教授	(2)特別賞受賞者

表3-2 名誉会員一覧(令和5年2月15日現在、委嘱年月日順、敬称略)

No.	氏名	勤務先役職 or 称号(委嘱当時)	委嘱年月日	生年月日	会長	特別賞
1	E. J. Corey	ハーバード大学教授	1993.02.16	1928.07.12		ノーベル賞
2	野依 良治	科学技術振興機構センター長	2002.02.19	1938.09.03	97-98	2000
3	吉田 善一	京都大学名誉教授	2003.02.18	1925.08.19		2001
4	鈴木 章	北海道大学名誉教授	2005.02.24	1930.09.12		2003
5	平岡 哲夫	元三共有機合成(株)代表取締役社長	2006.02.23	1935.08.05	03-04	
6	村井 眞二	大阪大学名誉教授	2006.02.23	1938.08.24	01-02	2004
7	村橋 俊一	大阪大学名誉教授	2008.02.20	1937.05.12		2005
8	中井 武	東京工業大学名誉教授	2011.02.18	1940.08.30	05-06	2014
9	白濱 晴久	北海道大学名誉教授	2012.02.17	1930.06.28		2011
10	竜田 邦明	早稲田大学名誉教授・栄誉フェロー	2013.02.19	1940.12.01		2012
11	玉尾 皓平	京都大学名誉教授	2014.02.20	1942.10.31		2013
12	山本 尚	シカゴ大学名誉教授	2014.02.20	1943.07.16		2008
13	迫田 良三	元日産化学工業(株)副社長	2014.02.20	1943.08.24	07-08	
14	大村 智	北里大学特別栄誉教授	2016.02.18	1935.07.12		ノーベル賞
15	桑嶋 功	東京工業大学名誉教授	2016.02.18	1937.11.11		2015
16	蘭頭 健吉	大阪市立大学名誉教授	2017.02.16	1931.12.5		2016
17	山本 嘉則	東北大学名誉教授	2019.02.14	1942.11.21		2018
18	福山 透	東京大学名誉教授	2019.02.14	1948.08.09	09-10	2021
19	櫻井 英樹	東北大学名誉教授	2020.02.19	1931.05.16		2019
20	柴崎 正勝	(公財)微生物化学研究会理事長・所長	2020.02.19	1947.01.25		2010
21	佐藤 幸蔵	(株)NIL 代表取締役社長	2020.02.19	1949.03.08	15-16	
22	塩入 孝之	名古屋市立大学名誉教授	2021.02.17	1935.08.05		2020
23	伊関 克彦	東レ(株)技術センター 顧問	2022.02.16	1951.06.08	11-12	
24	鳥居 滋	岡山大学名誉教授	2023.02.15	1932.06.25		2022

### その他

議案があれば挙手の上、提議してください。

## 【報告事項】

報告1 令和4年度事業報告（令和4年1月1日から令和4年12月31日まで）

定款第39条第1項および第2項に定めるところにより、令和5年1月度理事会で承認された令和4年度事業報告について、次のとおり報告をする。

### 1. 令和4年度通常総会(第85回)

- ✓ 令和4年2月16日 Web会議にて開催
- ✓ 構成員(代議員)99名中、出席者98名(本人出席29；代理人出席0；委任状・書面表決69)
- ✓ 決議事項
  - 第1号議案 『令和3年度決算報告承認』の件
  - 第2号議案 『令和4年度役員選任』の件
  - 第3号議案 『名誉会員委嘱』の件
- ✓ 報告事項
  - 報告1. 『令和3年度事業報告』
  - 報告2. 『令和4年度事業計画報告』
  - 報告3. 『令和4年度収支予算報告』
  - 報告4. 『永年会員昇格者報告』

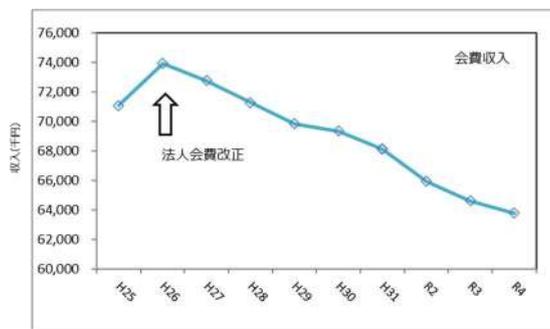
### 2. 会員動向

表4 会員数動向

区分	R3年末	入会	復活	退会	区分変更	異動計	R4年末	
普通会員	個人	3,202	53		▲205	34 ▲21	▲139	3,063
	法人	218	4		▲5		▲1	217
	団体	3					0	3
普通会員計	3,423	57		▲210	34 ▲21	▲140	3,283	
永年会員	169			▲9	21	12	181	
名誉会員	24			▲1	1	0	24	
学生会員	505	149	2	▲139	▲34	▲22	483	
合計	4,121	206	2	▲359	1	▲150	3,971	

### 会費収入の経年変化

令和4年度の会費収入は、前年対比▲845千円となった。普通会員(法人)会費収入が今期は微増に転じたものの普通会員(個人)会費収入の減少に歯止めがかからず、引き続き減少が続いている。



参考 会費収入の推移(単位:千円)

会員種別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
個人会員	41,427	40,535	39,688	38,488	37,237	36,643	35,261	34,556	33,344	32,537
法人会員	26,200	30,259	30,190	29,967	29,630	29,650	29,825	29,410	29,110	29,170
団体会員	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160
学生会員	3,321	3,003	2,742	2,666	2,830	2,910	2,900	1,827	2,028	1,930
合計	71,108	73,957	72,780	71,281	69,857	69,363	68,146	65,953	64,642	63,797
前年との差	—	2,849	-1,177	-1,499	-1,424	-494	-1,217	-2,193	-1,311	-845

### 3. 事業報告

令和4年度に実施した編集出版、研究会、および表彰の各事業について、表5のとおり報告する。

公1・編集出版事業(14頁)

公2・研究会事業

#### シンポジウム

本部(14頁)	北海道支部(14頁)	東北支部(14頁)	関東支部(15頁)
東海支部(15頁)	関西支部(16頁)	中国・四国支部(16頁)	九州・山口支部(17頁)

#### 講習会

本部(17頁)	東北支部(18頁)	関西支部(18頁)
---------	-----------	-----------

#### 懇談会

本部(18頁)	関東支部(19頁)	東海支部(19頁)
関西支部(20頁)	中国・四国支部(20頁)	九州・山口支部(20頁)

#### 見学会

本部(20頁)	九州・山口支部(20頁)
---------	--------------

公3・表彰事業

有機合成化学特別賞(21頁)	有機合成化学協会賞・奨励賞(21頁)
Mukaiyama Award(21頁)	Lectureship Award(21頁)
企業冠賞(21頁)	高砂香料国際賞「野依賞」(22頁)
支部表彰 関西支部(22頁)	中国・四国支部(22頁)
九州・山口支部(22頁)	

他1・共益事業

ゆうごう会・その他(23頁)	研究企画賞(23頁)
----------------	------------

表 5・1 令和 4 年度事業報告 (その 1)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
公1・編集出版事業	
有機合成化学協会誌	
第 80 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 4,400 部、総頁数 1,196 普通号 10 回；特集号 2 回(第 5 号「金属錯体が拓く有機合成」；第 11 号 Special Issue in English) 掲載内容：巻頭言 12 頁(12 件)、総説 26(2)、総合論文 767(69)、Review de Debut 20(10)、ラウンジ 83(8)、ケミカルズ覚え書き 0(0)、十字路 11(44)、感動の瞬間・MyPR 52(14)、新しい合成 44(177)、会告・協会記事等 232、広告 143 (独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2022 年度分を掲載。	
単行本の編集・出版	
該当なし	
公1 関連会議	
有機合成化学協会誌編集委員会(1/24, 3/30, 11/24)オンライン併用、(5/27, 7/20, 10/4)オンライン	
公2・研究会事業	
シンポジウム【本部】	
第 120 回有機合成シンポジウム；6/28～6/29；オンライン 口頭発表 33 件 優秀発表賞 3 件表彰 共催：九州大学総合理工学府、日本化学会、日本薬学会	105(31)
第 121 回有機合成シンポジウム；11/8～11/9；早稲田大学国際会議場 オーラル&ポスター発表 31 件；ポスター発表(ショートプレゼンテーション有り)10 件 合計 41 件 優秀ポスター賞 5 件表彰 共催：日本化学会、日本薬学会、早稲田大学理工学術院総合研究所	165(80)
多様性推進シンポジウム；9/15；化学会館・オンライン併用 【講演】Connecting the dots: 多様性がなければ創造性は生まれない (東北大学副学長/広報・ダイバーシティ担当) 大隅典子 共催：日本化学会、日本薬学会、日本薬学会医薬化学部会	239(35)
シンポジウム【北海道支部】	
第 34 回万有札幌シンポジウム；10/8；北海道大学鈴木章ホール・オンライン併用 招待講演 5 件、学生ショートトーク発表 16 件 1.【MBLA 受賞講演】スルホニル基を活かした逐次的分子変換反応の開発(名大トランスフォーマティブ生命分子研) 南保正和 2.有機分子触媒を利用する目的志向型天然物全合成(千葉大院薬) 石川勇人 3.新物質創造で探る電子対の新しい姿(阪大院理) 久保孝史 4.新しい特性を有するアルケン,アルキンの創製と応用(九大先導物質化研) 友岡克彦 5.有機合成で挑む免疫制御(阪大院理) 深瀬浩一 主催：万有札幌シンポジウム組織委員会、協賛：公益財団法人 MSD 生命科学財団、共催他団体：日本化学会北海道支部、北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター、北海道大学化学反応創生研究拠点 WPI-ICReDD	約 450
若手研究者のための有機化学札幌セミナー；7/1；オンライン 1.有機・超分子的手法に基づいた金クラスター集積ナノ構造の創出(北大院地球環境科学) 齋藤結大 2.超原子価ヨウ素化合物を用いたアスタチン-211 放射標識システムの開発(北大院理) 松岡慶太郎 3.β-ジケトン基を有する光合成色素分子クロロフィルの合成に関する研究(北大化学反応創成) 木下雄介 4.炎症収束性脂質レゾルビン類をプロトタイプとする創薬化学研究(北大院薬) 藤原広一 5.直鎖状分子からの環骨格一挙構築を基盤とした天然物合成戦略(阪公大院理) 西川慶祐	171(126)
シンポジウム【東北支部】	
第 33 回万有仙台シンポジウム；5/21；仙台国際センター大ホール・オンライン併用 主催：万有仙台シンポジウム組織委員会	442(320)

表 5.2 令和 4 年度事業報告 (その 2)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【東北支部】のつづき	
仙台地区秋の講演会；10/22；東北大学理学部大講義室・オンライン併用 1.シリルボランの新しい合成法とそれを用いたオリゴシランの連続合成（北大院工）伊藤肇 2.医薬品のプロセス化学を支える基盤技術－触媒スクリーニングと結晶スクリーニング－ （スベラファーマ）山野光久 3.生物活性天然物の全合成研究（東北大院農）桑原重文	195(122)
化学系学協会東北支部大会；9/17-18；岩手大学理工学部 有機化学関連ポスター発表 58 件 主催：日本化学会東北支部	522(296)
有機化学コロキウム；9/17；岩手大学理工学部	40(-)
第 37 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー；12/10；東北大学理学部大講義室・オンライン併用 学生発表件数 16 件	183(144)
シンポジウム【関東支部】	
第 82 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(横浜国大シンポジウム) 5/21；横浜国立大学常盤台キャンパス；特別講演 2 件、一般研究発表 48 件 1.生体内合成化学治療（東工大物質理工/理研）田中克典 2.キノリノラトロジウム触媒を用いる末端アルキンの新規変換反応の開発（慶大理工）垣内史敏 共催：日本化学会、日本薬学会	167(96)
第 83 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新津シンポジウム) 11/26-27；新潟薬科大新津駅東キャンパス；特別講演 3 件、一般研究発表 73 件 1.独自の反応を用いたマクロライド系天然物の全合成研究（工学院大先進工/関東支部長）南雲紳史 2.スマネン合成から 20 年（阪大院工）櫻井英博 3.窒素原子を含む結合活性化学種の発見と機能（東大院薬）大和田智彦	159(83)
若手研究者のためのセミナー；7/30；東京大学薬学系総合研究棟・オンライン併用 講演 9 件 1.計算主導型有機合成化学（千葉大院薬）中島誠也 2.ストレプトシアニンの合成的利用（学習院大理）諸藤達也 3.反応活性種の直接光励起を利用するホウ素化・スズ化反応（東工大物質理工）永島佑貴 4.天然物の効率的合成を目指して：アンモニアフリー-Birch 還元の開発（星薬大薬）加茂翔伍 5.キラルハロゲン結合ドナー触媒として機能する超原子価ハロゲン化合物の開発（千葉大院工）吉田泰志 6.触媒的エステル交換による PET 常温解重合法の開発（産総研触媒化学融合研セ）田中真司 7.がんが普遍的に過剰生産するアクロレイン代謝物：生組織でのカスケード反応によるがん診断・治療への応用（東工大物質理工）プラディプタ アンバラ 8.金属配位サイトの環状配列と精密分子認識を志向した大環状分子の合成 （筑波大数理物質系）中村貴志 9.イナミドから生じるメタルビニリデン中間体を基盤とした触媒的含窒素複素環構築法の開発 （明治薬大薬）田湯正法 10.縮環天然物の合成研究（筑波大数理物質系）大好孝幸	214(119)
シンポジウム【東海支部】	
有機合成セミナー；7/26；オンライン 1.タンデムヘテロ Friedel-Crafts 反応が拓く新材料化学（京大）畠山琢次 2.脳内のアミロイドタンパク質を除去する化学触媒（和歌山県立医科大）相馬洋平 3.新反応開発：結合活性化から求核触媒の新展開まで（阪大）鷹巣守	70(28)
若手研究者のためのセミナー；7/19；オンライン；招待講演 3 件 1.元素・結合・反応場の特性を活用する反応設計と分子機能創出（東大）滝田良 2.非遷移金属触媒系を用いる CO <sub>2</sub> 光還元反応の開発（神戸大）松原亮介 3.遷移金属触媒による二酸化炭素を C1 ユニットとして利用したカルボキシル化反応の開発 （北大）佐藤美洋	97(55)

表 5.3 令和 4 年度事業報告 (その 3)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【東海支部】のつづき	
<p>第 53 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会；11/5-7；愛知工業大学（オンライン） 【特別討論会】「有機化学の新展開」 &lt;依頼講演&gt; 1.有機 <math>\pi</math> 共役分子の骨格内部を探索空間とする新物質創製（名大）福井識人 2.脱炭酸のハロゲン化反応を利用したキラルスピロ化合物の合成（豊橋技科大）柴富一孝 3.イミノ窒素への極性転換反応と含窒素化合物への展開（三重大）溝田功 4.安定有機ラジカルが示すスピン相関発光機（分子研）草本哲郎 &lt;招待講演&gt; 1.天然物合成化学の新しい展開を目指して（東大）大栗博毅 2.ラジカルを制御する分子性触媒（京大）大宮寛久</p>	82(68)
<p>有機合成化学総合講演会；12/8；信州大（オンライン） 1.基質認識型・超強塩基性有機分子触媒の創製（東北大院理）寺田眞浩 2.<math>\alpha</math>-アミノアルキルラジカルを用いる含窒素ヘテロ環合成（北里大薬）伊藤謙之介 3.プロアントシアニンオリゴマーの合成と生物活性（信州大農）眞壁秀文</p>	38(27)
シンポジウム【関西支部】	
<p>第 42 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」(若手研究者のためのセミナー) 8/10；オンライン；若手研究発表 50 件 1.構造制御による金属種の創成と選択的反応への展開（阪大院工）安田誠 2.機能性分子を指向したフッ素化-<math>\beta</math>-ラクタムの構造変換（摂南大薬）樽井敦 3.高反応性分子を活用した高次縮環芳香族化合物の合成（関学大生命環境）羽村季之 4.マイクロリアクター研究が導く高速合成化学（北大院理）永木愛一郎 5.創薬化学分野における共同発明の発明者認定の重要性（高島国際特許事務所）當麻博文 6.光受容機能解明を目指したフィトクロム発色団の合成（金沢大院理工）宇梶裕</p>	297(214)
<p>2022 年度有機合成化学北陸セミナー；10/7；センチュリオンホテル リゾート&amp;スパ テクノポート福井 1.電子触媒クロスカップリング反応（関学大生命環境）白川英二 2.<math>\alpha</math>-キラル <i>N</i>-スルホニルイミンへのプロキラル求核剤の付加：理論計算による立体制御因子の解明（岐阜大工）安藤香織 3.材料化学の視点から挑むペロブスカイト太陽電池の高性能化研究とその実用化（京大化研）若宮淳志 4.アトピー性皮膚炎治療薬 デルゴシチニブのプロセス開発（日本たばこ）小野木照二 発表件数(口頭)11 件；(ポスター)59 件</p>	153(118)
シンポジウム【中国・四国支部】	
<p>若手研究者のためのセミナー(第 36 回若手化学者のための化学道場)；9/12-13；岡山大学津島キャンパス；世話人：岡山大学 【特別指南講演】 可逆反応と不可逆反応を組み合わせたドミノ触媒反応の開発（岡山大）三浦智也 【師範講演】 1.ヘテロアセン類の効率的合成法の探索（岡山大）光藤耕一 2.<math>\pi</math> 電子系化合物の反応開発と光機能開拓（徳島大）八木下史敏 3.キラルなグアニジン触媒を用いた不斉シリル化反応による速度論的光学分割法の着想から展開（島根大）中田健也 4.キラルナフタレン多量体と発光団から成る円偏光発光色素（岡山大）高石和人 5.センブライドジテルベンの一元的全合成に関する研究（岡山大）高村浩由 6.高歪炭化水素分子テトラヘドランと反芳香族分子シクロブタジエンの合成と構造（広島大）中本真晃 7.ホウ素 Lewis 酸-キラルリン酸複合触媒を用いるマルチ選択的 Diels-Alder 反応(神戸薬大)波多野学 学生発表件数：37 件</p>	95(73)

表 5.4 令和 4 年度事業報告 (その 4)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生 数)
シンポジウム【九州・山口支部】	
第 34 回若手研究者のためのセミナー；8/20；九州大学病院キャンパスコラボ・ステーション I 特別講演 1 件 炭素及び窒素カチオンを機軸とする有機化学（金沢大院薬）国嶋崇隆 招待講演 1 件 分子性材料ならではの光機能発現を目指して（九大院工）楊井伸浩 受賞講演（ポスター賞）11 件；企業紹介 2 件	95(67)
第 38 回有機合成化学セミナー；9/28-30；アクティブリゾート福岡八幡 【招待講演】 1.『混乱から創造へ』—混乱型ポルフィリノイドの創製と展開（立命館大総合科技研）古田弘幸 2.フロー化学を通じた古典的活性種の理解と応用（名大院創薬科学）布施新一郎 3.稠密に官能基化された天然物の合成研究：複雑な分子を読み解く（東工大理）大森建 4.有機触媒反応を活用したペプチド合成と後期修飾法の開発（京大院薬）竹本佳司 5.トリフルオロメチル化反応の新展開（群馬大院理工）網井秀樹 6.東ソーのハロゲン化学と有機合成（東ソー）宮崎高則 7.自己集合により形成される超分子構造の合成と機能（広島大院先進理工）灰野岳晴 8.結合の新しい反応性を引き出す楽しみ（阪大名誉教授）茶谷直人 【令和 3 年度有機合成化学協会奨励賞】受賞講演 1.レドックス化学による高歪有機分子の構築と機能開拓（北大院理）石垣侑祐 2.高活性プレンステッド塩基が拓く炭素-水素・炭素-酸素結合の直截的分子変換(東北大院薬)重野真徳 3.タンパク質全合成のためのペプチド連結化学（名大院工）林剛介 4.精密糖鎖合成を基盤としたグリココード解読と利用（阪大院理）真鍋良幸 5.不斉合成を変革する動的らせん高分子触媒の開発（京大院工）山本武司 【2022 Mukaiyama Award】受賞講演 1.Strained Intermediates and Chemical Education (University of California, Los Angeles, U.S.A.) Pro.Neil Garg 2. 3 価ヨウ素化合物の新しい反応と合成の探求（東北大院薬）吉戒直彦 【2022 Lectureship】受賞講演 1.Designing Catalysts and Reactions for the P(III)/P(V)=O Couple (Massachusetts Institute of Technology, U.S.A.) Pro.Alexander T. Radosevich ポスター発表：98 件 共催：本部	206(104)
講習会【本部】	
2022 年度 有機合成化学講習会；12/20；ワイム貸会議室お茶の水 テーマ：『フロー合成と電解合成の最先端、そしてデジタル有機合成への展開』 ◇講義 1.フローリアクターが革新する新たな有機電解合成プロセス（横浜国大院工）跡部真人 2.電解グリコシル化反応のオリゴ糖自動合成への応用（鳥取大院工）野上敏材 3.フロー反応の活用によるデジタル有機合成の推進（九大院薬）大嶋孝志 ◇情報交換・交流会 共催：日本化学会、日本薬学会	37(0)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 9 回勉強会；7/15；オンライン 1.機械学習によるロボットの作業スキル獲得（奈良先端大）松原崇亮 2.バイオ DX によるスマートセル開発とバイオ生産プロセスへの応用（神戸大）蓮沼誠久	79(2)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 10 回勉強会；12/22；ワイム貸会議室お茶の水・オンライン併用 1.最少学習データによるデータ駆動型精密有機合成：反応開発を加速する機械学習ベイズ最適化による反応条件最良化（阪大産研）滝澤忍 2.量子化学計算に基づく化学反応の予測（北大院理）前田理	118(5)

表 5.5 令和 4 年度事業報告 (その 5)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
講習会【本部】のつづき	
<p>「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 7 回勉強会；8/26；オンライン</p> <p>1.疾患に対抗するオートファジー（東北大院生命科学）有本博一</p> <p>2.大阪大学におけるアスタチン-211 核医学治療薬の開発（阪大院理）深瀬浩一</p> <p>3.タンパク質工学で特定部位の免疫を活性化したり不活性化する(Imperial College London)石原純</p>	70(2)
<p>「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 8 回勉強会；12/8；ワイム貸会議室お茶の水</p> <p>1.LassoGraft Technology®が拓く新たなバイオロジクスの世界/日本の創薬イノベーションの課題へのチャレンジ（ミラバイオロジクス）加藤益弘</p> <p>2.核酸デリバリーに向けた高分子ナノ医薬の精密構造設計（東大院工）宮田完二郎</p> <p>3.新規バイオナトランスポーターの開発と医療応用（京大院工）秋吉一成</p> <p>◇交流・情報交換会</p>	42(0)
講習会【東北支部】	
<p>青森地区講演会；11/4；弘前大学創立 50 周年記念会館みちのくホール</p> <p>1.カーボンナノチューブの世界によこそ（東北大院理）齋藤理一郎</p>	72(66)
<p>山形地区講演会；12/15；山形大学理学部 S401 教室・オンライン併用</p> <p>1.触媒的ヘテロ環合成法の開発（山形大院理工）皆川真規</p> <p>2.配位子の電子的効果による触媒的 C-C 結合生成反応の加速（岩手大理工）是永敏伸</p>	27(21)
講習会【関西支部】	
<p>有機合成 2 月セミナー「有機合成のニュートレンド 2022」；2/3；オンライン</p> <p>1.有機合成化学で挑むこれからのナノカーボン分子科学（東大院理）磯部寛之</p> <p>2.ペプチド合成の進化と医薬品としてのペプチドの重要（ペプチドリーム）舩屋圭一</p> <p>3.光触媒的一電子注入法が拓く分子変換技術（日本工大基幹工）小池隆司</p> <p>4.“Undruggable Target”を“Druggable”に変えるタンパク質分解誘導薬の新動向(エーザイ)大和隆志</p> <p>5.平面四座 PNNP 配位子を有する 3d 金属錯体の金属-配位子協働効果と触媒作用（産総研）中島裕美子</p> <p>6.有機ニトロキシラジカル-遷移金属協奏触媒による空気酸化的精密分子変換(東北大院薬)岩淵好治</p>	247(156)
<p>有機合成夏期セミナー「明日の有機合成化学」；8/29；大阪科学技術センター</p> <p>1.有機合成化学研究者が高分子合成を始めてみたら（京大化研）山子茂</p> <p>2.計算化学による反応機構解析と機械学習による触媒設計（慶大理工）畑中美穂</p> <p>3.量子化学計算に基づく化学反応探索を目指して（北大 ICReDD）前田理</p> <p>4.企業における有機合成研究の技術力向上と課題解決（ダイセル/京大エネルギー理工）北山健司</p> <p>5.α-四置換型非天然 α-アミノ酸の新規触媒的合成法の開発と「デジタル有機合成」（九大院薬）大嶋孝志</p>	76(26)
懇談会【本部】	
<p>2022 新春特別フォーラム；1/19；ワイム貸会議室お茶の水+オンライン(Zoom, oVice)併用</p> <p>[第 I 部 講演]</p> <p>基調講演(1)「製薬会社におけるケミストの意地と知恵」(東和薬品)内川治</p> <p>基調講演(2)「有機合成は自由を創る原動力」(東農工大)千葉一裕</p> <p>[第 II 部 オンライン賀詞交換会] (oVice で開催)</p> <p>共催：有機合成化学協会関東支部</p>	93(0)
<p>2022 中堅・若手リーダーのための YUGOKAFe[ユウゴウカフェ](講演 &amp; 討論会)；12/6；早稲田大学リサーチイノベーションセンター/コマツ 100 周年記念ホール・会議室</p> <p>[第 I 部：講演]</p> <p>1.有機合成が切り開くイノベーション（中部大）満田勝</p> <p>2.有機合成化学協会、『一期一会』（北里大）砂塚敏明</p> <p>[第 II 部：グループ討論]</p> <p>[第 III 部：情報交換・交流会]</p>	72(0)

表 5・6 令和 4 年度事業報告 (その 6)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【本部】のつづき	
学生のためのセミナー（企業の若手研究者との討論・交流会）・第 7 弾；11/19；オンライン 1. パネラーのプレゼンテーション (1) 富士フィルムの有機材料開発～自己紹介と業務紹介～（富士フィルム）飯泉隆史 (2) 製薬企業での研究と日常の紹介（大正製薬）岡田久美子 (3) Working as a medicinal chemist at Takeda (and connecting the dots backwards)（武田薬品工業）笠原敬仁 (4) 日産化学の創薬技術開発～医薬研究部の事例紹介～（日産化学）丹羽雅俊 (5) 医薬・マテリアルの企業研究（東レ）野上摩利菜 (6) 役立つモノをつくるには～楽しい・大変・だけ じゃない？～（クラレ）野口大樹 2. ブース形式懇談会 3. 全体総括	44(44)
令和 3 年(2021 年)度企業冠賞受賞講演会；10/17；オンライン；受賞講演 5 件 1.【富士フィルム・機能性材料化学賞】 高性能かつロバスタな p 型および n 型有機半導体の開発（東大院新領域）岡本敏宏 2.【カネカ・生命科学賞】 標的選択的なオートファジー制御技術の開発（東北大院生命科学）有本博一 3.【シオノギ・低分子創薬化学賞】 生合成プロセス拡張による骨格多様化合成法の開発と創薬リード創製（東大院理）大栗博毅 4.【東ソー・環境エネルギー賞】 電解および光レドックスシステムを用いた環境調和型物質変換システムの開発（九大院工）鳶越恒 5.【日産化学・有機合成新反応/手法賞】 触媒的骨格転位反応を基盤とする新合成手法の開発（東北大院理）中村達	169(12)
懇談会【関東支部】	
有機合成化学ミニシンポジウム①；4/26；化学会館・オンライン併用 1. シガトキシンの全合成とその後 地の利・人の和・好奇心 もう一度やるのだ、断固やるのだ（東北大名誉教授・阪府大客員教授・株式会社アクロスケール取締役）平間正博	233(86)
有機合成化学ミニシンポジウム②	中止
有機合成化学ミニシンポジウム③(ミニシンポジウム千葉 2022)；10/24；千葉大学 1. 特殊ヘテロ環の化学（慶大薬）熊谷直哉 2. 生体内合成化学治療（東工大物質理工/理研）田中克典 3. 人にやさしく、環境にやさしい香料素材の研究開発（高砂香料工業）江村誠	77(59)
有機合成化学ミニシンポジウム④	中止
合同ミニシンポジウム「学生シンポジウム－情熱と知性の融合－」；12/17；オンライン 1. 人工知能で挑む有機分子設計（理研）隅田真人 2. 炭素－水素結合活性化を経る不斉付加反応（大阪公立大院理）西村貴洋 3. キラリティに魅せられて（東理大薬）高橋秀依 4. 窒素-窒素結合が繰り出す多様性を活用した複素環合成（神戸薬大）上田昌史 5. 天然物合成における試行錯誤：複雑な構造を読み解く（東工大理）大森建	180(68)
有機合成化学談話会(湯河原セミナー)	中止
懇談会【東海支部】	
訪日学者講演会；6/3；名古屋大学 Dr. Dominique Cahard Research Director CNRS (National Centre for Scientific Research) Normandie University, France	63(51)
訪日学者講演会；12/12；岐阜薬科大学 Gauravjoti Dutta Kalita, Ph.D. Assistant Professor Department of Chemistry, Dibru College, Dibrugarh, Assam, India	40(32)

表 5.7 令和 4 年度事業報告 (その 7)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<b>懇談会【関西支部】</b>	
有機合成新春講演会；1/17；オンライン 1.免疫システムから学んだこと：進化分子工学による人工生体分子(抗体酵素，ペプチド中分子医薬)の設計と創出（阪府大院理）藤井郁雄 2.人工遺伝子スイッチによるエピジェネティック創薬（京大院理）杉山弘 3.二重活性化型不斉触媒の創製（阪大産研）笹井宏明 4.0から1を目指してー炭素-炭素結合を切る化学（京大院工）村上正浩 5.配向基：不活性な結合を利用した有機合成（阪大院工）茶谷直人	185(31)
セミナー-化学千一夜「明日の化学への夢を語ろう」	中止
<b>懇談会【中国・四国支部】</b>	
第 81 回パネル討論会；5/14；広島大学 1.低温現象を室温で顕在化する炭化水素 COPV の開発と光機能性材料への応用（神奈川大理）辻勇人 2.高性能有機半導体材料の設計・合成技術（東大院新領域科学）岡本敏宏	50(20)
第 82 回パネル討論会または有機合成ミニシンポジウム 2022	開催延期
来日学者講演会；11/2；岡山大学 (Un)usual Phosphorus-based Concepts for Organic Materials Prof. Thomas Baumgartner (York University, Canada)	54(42)
来日学者講演会；11/14；岡山大学 Hydrogen Activation by Non-precious Metals Prof. Jun Okuda (RWTH Aachen University, Germany)	54(43)
第 19 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム；12/16-17；広島大学 口頭発表 (A) (20 分)、口頭発表 (B) (15 分)；学生発表件数 16 件 主催：ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会	45(28)
<b>懇談会【九州・山口支部】</b>	
第 1 回有機合成化学講演会；6/3；九州大学病院キャンパス視聴覚ホール・オンライン併用 招待講演 2 件 1.ゴムの加硫促進剤、加硫剤のベース技術から始まった、硫黄系化合物の機能創出と企業化（三新化学工業）高下勝滋 2.古典的有機光反応化学の新展開（東工大）鷹谷絢	89(28)
第 59 回化学関連支部合同九州大会；7/2；北九州国際会議場 招待講演：8 件 【有機化学講演】有機電解合成のすゝめ（九大院工）鳥越恒 ポスター発表 533 件；有機化学 69 件 主催：化学関係九州支部 担当：農芸化学会西日本支部	-(-)
来日学者講演会	中止
<b>見学会</b>	
本部；九州山口支部：実施なし	
<b>公 2 関連会議</b>	
有機合成化学協会事業委員会；5 回(3/15,5/10,7/14,10/7,12/2)；化学会館・オンライン併用 第 120 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；1 回(5/24)；オンライン 第 121 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；1 回(7/14)；化学会館・オンライン併用 有機合成化学講習会企画準備委員会；1 回(6/21)；化学会館 中堅・若手リーダーのための YUGOKAFe 企画委員会；2 回(6/10,11/10)；オンライン 学生のためのセミナー企画委員会；2 回(6/23,11/7)；オンライン 「AI と有機合成化学」研究部会/幹事会；2 回(4/19,12/22)；オンライン 「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会/幹事会・担当幹事会議；3 回(4/13,6/1,8/31)；オンライン	

表 5・8 令和 4 年度事業報告 (その 8)

事業の名称および事業の概要	担当機関
公 3. 表彰事業	
有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)	
理事による候補者推薦 ; 6~8 月郵便による投票	理事会
理事によって推薦された候補者からの受賞者選考 ; 10/12 ; オンライン ●鳥居滋 (岡山大名誉教授) 業績 : 有機電解合成を主軸とする有機合成の展開 表彰式・受賞講演(R5 年 2/15)	賞選考 委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞の選考と受賞者(協会賞 : 3 件 ; 奨励賞 : 5 件採択)	
各支部推薦委員会 ; ~7 月	賞選考 委員会
奨励賞書面審査 ; 実施	
協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会 ; 10/11~10/12 ; オンライン	
【有機合成化学協会賞(学術的なもの)】 ●井上将行 (東大院薬) 業績 : 巨大複雑天然物の全合成と構造類縁体の網羅的創出 ●桑原重文 (東北大院農) 業績 : 顕著な生物活性を有する特異構造天然有機化合物の全合成研究 【有機合成化学協会賞(技術的なもの)】 ●中村嘉孝 他 4 名 (第一三共) 業績 : 不斉有機触媒を用いる神経障害性疼痛薬ミロガバリンの高効率 率的合成法の開発 【有機合成化学奨励賞】 ●井本裕頭 (京都市芸繊維大院工芸科学) 業績 : 炭素-ヒ素結合形成反応の開発に基づく機能性有機 ヒ素化学の創出 ●小田木陽 (東京農工大) 業績 : 脱芳香族化反応を活用した多環縮環型アルカロイド類の全合成 ●小西彬仁 (阪大院工) 業績 : 金属種を活用した奇数員環構築が拓く新しい非交互炭化水素類の合 成と機能解明 ●清水章弘 (阪大院基礎工) 業績 : <i>m</i> -キノジメタンを基盤とする縮合多環ジラジカル の創出 ●下山敦史 (阪大院理) 業績 : 複合糖質の化学合成が拓く細菌-宿主間ケミカルエコロジー 表彰式(R5 年 2/15) 受賞講演 : 協会賞(学術的なもの : R5 年 2/15 ; 技術的なもの : 日時未定) 奨励賞(R5 年 9 月)	
受賞講演 : 協会賞(学術的なもの : R5 年 2/15 ; 技術的なもの : 日時未定) 奨励賞(R5 年 9 月)	
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)	
Mukaiyama Award 委員会 ; 2023 受賞者選考委員会 8/10 ; オンライン	Mukaiyama Award 委員会
●熊谷直哉 (慶大薬) The development of synthetic methodologies driven by cooperative catalysts, unique heterocycles, and quinoline oligomers. ●Sarah E. Reisman (California Institute of Technology Pasadena, U.S.A.) The rapidly advancing field of Ni-catalysis, with an emphasis on asymmetric reductive cross-coupling reactions. 表彰式・受賞講演 ; R5 年 9 月	
Lectureship Award	
●Alexander T. Radosevich (Massachusetts Institute of Technology, U.S.A.) Designing Catalysts and Reactions for the P(III)/P(V)=O Couple 表彰式・受賞講演 ; R4 年 9/29 (2022 年度)	九州山口 支部
企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 4 件採択) ; 書面審査(郵便 ; ~11/20)	
【カネカ・生命科学賞】 ●田中克典 (東工大/理研) 業績 : 生体寛容性人工金属酵素の開発を基盤とした生体内合成化学治療 【東ソー・環境エネルギー賞】 ●藤原哲晶 (京大) 業績 : 環境調和に立脚した二酸化炭素を炭素源とする触媒的有機合成反応の開発 【日産化学・有機合成新反応/手法賞】 ●新谷亮 (阪大) 業績 : 拡張 $\pi$ 共役分子の迅速合成を可能にするロジウム触媒を用いた縫合反応の開発 【富士フイルム・機能性材料化学賞】 ●安田琢磨 (九大) 業績 : 高速スピント換を基軸とする革新的有機発光材料の創製 表彰式(R5 年 2/15) ; 受賞講演(R5.日時未定・オンライン)	企業冠賞 選考委員会

表 5・9 令和 4 年度事業報告 (その 9)

事業の名称および事業の概要	担当機関
高砂香料国際賞「野依賞」関連	
<p>野依賞委員会 ; 2022 受賞者選考委員会 8/3 ; オンライン</p> <p>●Gregory C. Fu (California Institute of Technology, U.S.A.) Professor Fu has made important contributions to the development of new synthetic methods based on his original design of catalysts and reactions. Fu designed planar-chiral nucleophilic catalysts by fusing DMAP to ferrocene for a variety of asymmetric reactions as represented by acylative kinetic resolution. This achievement, where nitrogen atoms in designed catalysts function as a "working element" in asymmetric catalysis, served as an early contribution to the field of "asymmetric organocatalysis". Fu's research interests also include transition-metal catalysis. He established a way to utilize unreactive chloroarenes in Pd-catalyzed <math>sp^2</math>-<math>sp^2</math> cross-couplings using tri-<i>t</i>-butylphosphine as a ligand. Fu then turned his attention to asymmetric <math>sp^3</math>-<math>sp^3</math> carbon-carbon bond-forming cross-couplings using chiral nickel catalysts. His work on enantioconvergent reactions of racemic electrophiles is particularly notable. Fu also succeeded in asymmetric <math>sp^3</math> carbon-heteroatom bond-forming cross-couplings using chiral copper catalysts under irradiation of light. Unlike conventional transition metal/photosensitizerbinary catalyst systems, his system needs only a single catalyst. 表彰式・受賞講演 ; R5 年 2/15</p>	野依賞委員会
支部表彰	参加者数 総数(学生数)
<p>【関西支部】 第 20 回支部賞授賞講演会 ; 11/21 ; 大阪科学技術センター 1.有機電子移動反応により生じる活性種に着目した合成化学 (近畿大理工) 松本浩一 2.金触媒を用いた連続反応を基軸とする多置換含窒素複素環の de novo 構築法の開発 (富山大学術研) 杉本健士 3.バンレイシ科アセトゲン類をモチーフとする新規抗がんリード化合物の創製研究 (京都薬大) 小島直人</p>	34(0)
<p>【中国・四国支部】 有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」 ; 11/26 ; 岡山大学 【支部奨励賞受賞講演】 新規複素多環芳香族化合物を主骨格とする有機半導体材料の開発 (岡山大異分野基礎科研) 森裕樹 【特別招待講演】 反芳香族化合物 : 再考 (台湾国立陽明交通大學, 阪大産研) 戸部義人</p>	101(71)
<p>【九州・山口支部】 支部各賞選考委員会 ; 6/3 ; 九州大学病院キャンパスコロバ・ステーション I ・オンライン併用</p>	-(-)
<p>【九州・山口支部】 第 32 回万有福岡シンポジウム ; 6/4 ; 九州大学椎木講堂・オンライン併用 ; 支部ポスター賞 (2 名) 主催 : 万有福岡シンポジウム組織委員会</p>	-(-)
<p>【九州・山口支部】 第 2 回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式 ; 10/24 ; 九州大学伊都キャンパス 支部賞受賞講演 : 3 件 【優秀論文賞】 ●Iridium-Catalyzed C(<math>sp^3</math>)-H Borylation Using Silyl-Bipyridine Pincer Ligands (九大先導研) 鳥越尊 ●Quadruple Role of Pd Catalyst in Domino Reaction Involving Aryl to Alkyl 1,5-Pd Migration to Access 1,9-Bridged Triptycenes (九大先導研) 岩田隆幸 【奨励賞】 ●高効率な均一系・不均一系触媒反応の開発 (九大院理) 山本英治 【招待講演】1 件 ●ハーバー・ボッシュ法を超えるアンモニア合成法への挑戦 (東大院工) 西林仁昭</p>	107(69)

表 5・10 令和 4 年度事業報告（その 10）

事業の名称および事業の概要	担当機関
他 1・共益事業	
ゆうごう会	
ゆうごう会（東京；大阪）	中止
海外視察団派遣	
海外視察団派遣；実施なし	
技術アドバイス事業	
技術アドバイス事業；申請なし	
研究企画賞	
<p>研究企画賞選考委員会；11/16；オンライン；22 件採択</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 味の素研究企画賞：山下泰信（大阪大学） キメラ分子の迅速的開発を指向した酵素によるリンカー選択的還元のアミノ化反応の開発と応用</li> <li>● 関東化学研究企画賞：友原啓介（九州大学） 不斉アンモニア-Ugi 反応の開発と非天然型 <math>\alpha,\alpha</math>-2 置換アミノ酸含有特殊ペプチドの合成</li> <li>● コニカミルタ研究企画賞：齋藤雄太郎（東京大学） 多価不飽和脂肪酸ライブラリー構築を指向した固相合成法の確立</li> <li>● 塩野義製薬研究企画賞：大村修平（名古屋大学） 元素戦略で挑む鉄触媒を用いる不斉 C-H フッ素化反応</li> <li>● 第一三共研究企画賞：小田木陽（東京農工大学） アザ-ベンジル酸転位反応による環縮小に基づくパクタマイシンの全合成研究</li> <li>● 大正製薬研究企画賞：友重秀介（東北大学） プロテアーゼの直接利用に立脚した細菌・ミトコンドリアで機能する次世代タンパク質分解薬の創製</li> <li>● ダイセル研究企画賞：横尾英知（京都府立医科大学） 長鎖核酸を認識するペプチド核酸の二次構造制御を基にした新規開発</li> <li>● 田辺三菱製薬研究企画賞：梅原厚志（東北大学） 低反応性窒素求核剤とカルボン酸の高効率化学選択的 one-pot アミド結合形成反応</li> <li>● 中外製薬研究企画賞：南條毅（京都大学） 高還元力を有する求核性有機光触媒システムの確立と応用</li> <li>● DIC 研究企画賞：信田尚毅（横浜国立大学） 植物由来原料を用いた 2 官能性モノマーの合成と重合および分解</li> <li>● 帝人ファーマ研究企画賞：松尾和哉（京都工芸繊維大学） 光制御型薬剤を効率的に獲得する分子システムの構築</li> <li>● 東ソー研究企画賞：田中健太（岡山大学） 短寿命活性種の光触媒的発生を基盤とした <math>\pi</math> 共役分子のフロー合成</li> <li>● 東ソー・ファインケム研究企画賞：河村伸太郎（理化学研究所） パーフルオロカルボン酸の合成化学的ケミカルリサイクル手法の開発</li> <li>● 日産化学研究企画賞：浜田翔平（京都薬科大学） ピアリールカルボン酸構造に基づく距離認識型触媒の創製とアミノ酸のサイト選択的 C-H 官能基化法の開発</li> <li>● 日本触媒研究企画賞：中村智也（京都大学） 鉛フリーペロブスカイト太陽電池の高性能化を実現する単分子電子回収材料の開発</li> <li>● 富士フイルム研究企画賞：黒木堯（京都大学） 多重反応性を有する金属カーバイド反応剤の開発と新規増炭反応の開拓</li> <li>● 富士フイルム和光純薬研究企画賞：大石雄基（富山大学） 大環状触媒を利用した糖類の位置選択的誘導化法の開発</li> <li>● 保土谷化学工業研究企画賞：鳥海尚之（東京大学） 「金属芳香族性」を有する近赤外有機分子の開発と応用</li> <li>● 三井化学研究企画賞：山科雅裕（東京工業大学） 自己相補性に基づくメタルフリーな超分子集合体の創製と光機能 (次ページへつづく)</li> </ul>	<p>担当機関</p> <p>研究企画賞 選考委員会</p>

表 5・11 令和 4 年度事業報告（その 11）

事業の名称および事業の概要	担当機関
<p>(前ページのつづき)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 三菱ガス化学研究企画賞：佐古真（大阪大学） 機械学習を活用する有機反応開発の加速化：溶媒効果の定量的説明、条件最適化および反応機構解析への応用</li> <li>● 三菱ケミカル研究企画賞：葛原大軌（岩手大学） 反芳香族分子ピラシレンを組み込んだ共有結合性有機構造体の合成と機能開拓</li> <li>● Meiji Seika ファルマ研究企画賞：寄立麻琴（九州大学） 光触媒による特異なピニルラジカル発生法および新規フルオロアルケニル化反応の開発</li> </ul>	
法人運営関連会議	
本部関連	
第 85 回通常総会(定期社員総会；2/16；オンライン)	
運営委員会・理事会(1/26, 2/16, 4/14, 6/16, 9/15, 12/7)；オンライン併用	
財務・予算委員会(11 月下旬, 1 月下旬；メール報告)；分科会(実施なし)	
80 周年記念事業委員会(事業計画を審議；10/13, 随時オンライン会議)	
令和 5 年度役員候補者選出委員会(10/21)；オンライン併用	
支部関連【全支部】	
支部キャラバン(会長訪問・意見交換会)：実施	
北海道 6/27；東北 7/16；関東 10/6；東海 11/19；関西 5/30；中国四国 5/14；九州山口 6/3	
支部関連【関東支部】	
支部常任幹事会；4 回(4/26, 7/8, 10/6, 12/15)Web 併用、支部幹事会；2 回(4/26, 10/6)オンライン併用	
関東支部候補者推薦委員会；7/8；オンライン併用	
協会賞等支部推薦委員会；7/8；オンライン併用	
支部関連【東海支部】	
常任幹事会(2/19；名古屋・オンライン)	
支部総会(11/19；名古屋工業大学)	
支部関連【関西支部】	
幹事会；4 回（3/29 オンライン, 5/30 大阪科学技術センター・オンライン併用, 8/2 大阪科学技術センター・オンライン併用, 11/21 大阪科学技術センター）	
支部関連【中国・四国支部】	
幹事会・懇話会合同会議；2 回（5/14 広島大, 11/26 岡山大）	
支部関連【九州・山口支部】	
事務引継会；2/24；オンライン(参加者：R3/R4 幹事執行部、相談役、監査、事務局員)	
第 1 回幹事会；6/3；九州大学病院キャンパスコラボ・ステーション I・オンライン併用	
議題：2021 年度事業報告；2021 年度会計決算報告；2022 年度事業計画；2022 年度予算案；その他	
第 2 回幹事会；10/24；九州大学伊都キャンパス I2CNER 第一研究棟 大会議室	
議題：2022 年度中間事業報告；2022 年度中間会計報告；2023 年度事業計画；2023 年度予算案；その他	

事業報告附属明細書

令和 4 年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

報告 2 令和 5 年度事業計画

令和 5 年度の編集・出版、研究会および表彰の各事業計画について、以下のとおり報告する。

表 6・1 令和 5 年度事業計画 (その 1)

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
公 1・編集出版事業		
有機合成化学協会誌 81巻第1~12号(12冊)、発行部数4,400部/月、年間総ページ1,200 普通号10回;特集号 2回 第 5号「日本の誇るハロゲン資源:ハロゲンの反応と機能」 第11号 Special Issue in English	本部	
単行本の編集・出版 有機合成化学協会 創立80周年記念出版「感動の瞬間 続編(仮題)」 有機合成化学協会 編;(株)化学同人 刊行 「有機化学実験の手引き/1988年出版・化学同人」 有機合成化学協会 編;(株)化学同人 改定刊行	本部	
公 1 関連会議 有機合成化学協会誌編集委員会(日時未定;6回) 出版委員会(日時未定;3回)	本部 本部	
公 2・研究会事業		
シンポジウム 第122回有機合成シンポジウム(7月19-20日;東工大蔵前会館・くらまえホール) 第123回有機合成シンポジウム(11月7-8日;早稲田大学国際会議場) 有機合成化学協会 創立80周年記念式典・記念国際シンポジウム (7月20-21日;東工大蔵前会館・くらまえホール) 万有札幌シンポジウム(7月1日・北海道大学) 日本化学会北海道支部夏季研究発表会(日時・場所未定) 若手研究者のための有機化学札幌セミナー(11月;場所未定) 仙台地区春の講演会(5月または6月;場所未定) 若手研究者のための仙台セミナー(11月または12月;場所未定) 万有仙台シンポジウム(5月または6月) 日本化学会東北支部80周年記念大会(9月) 第84回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(農工大シンポジウム) (5月13日;東京農工大学) 第85回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新潟シンポジウム) (11月末日;新潟大学) 有機合成化学ミニシンポジウム①(4月28日;東京理科大学記念講堂) 有機合成化学ミニシンポジウム②(7月;東海大学) 有機合成化学ミニシンポジウム③(10月;千葉大学) 有機合成化学ミニシンポジウム④(10月または11月;多摩地区) 合同ミニシンポジウム「学生シンポジウム-地上の星を探せ-」(日時・場所未定) 若手研究者のためのセミナー(7月;東京大学薬学系総合研究棟 2階講堂) 有機合成セミナー(6月;場所未定) 有機合成化学総合講演会(12月;場所未定) 若手研究者のためのセミナー(7月;場所未定) 第54回中化連秋季大会(日時未定;三重大学) 第54回中化連秋季大会特別討論会(日時未定;三重大学) 有機合成北陸セミナー(10月20-21日;石川県青少年総合研修センター)	本部 本部 本部 他学会 他学会 北海道支部 東北支部 東北支部 他学会 他学会 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 他学会 東海支部 東海支部 東海支部 他学会 他学会 関西支部	北海道支部 北海道支部 東北支部 東北支部

表 6・2 令和 5 年度事業計画 (その 2)

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
公 2 ・研究会事業(つづき)		
<p>シンポジウム</p> <p>第39回有機合成化学セミナー (9月20-22日；兵庫県；淡路夢舞台国際会議場)</p> <p>若手研究者のためのセミナー(第37回若手化学者のための化学道場) (世話人：広島大学；日時・場所未定)</p> <p>第35回若手研究者のためのセミナー (8月19日；九州大学病院キャンパスコラボ・ステーション I)</p>	<p>関西支部</p> <p>中国四国支部</p> <p>九州山口支部</p>	<p>本部</p>
<p>講習会</p> <p>2023年度前期有機合成化学講習会(日時・場所未定)</p> <p>2023年度後期有機合成化学講習会(日時・場所未定)</p> <p>「AIと有機合成化学」研究部会：勉強会2回(第11回、第12回；日時・場所未定)</p> <p>「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会：勉強会2回 (第9回、第10回；日時・場所未定)</p> <p>岩手地区講演会(日時・場所未定)</p> <p>福島地区講演会(日時・場所未定)</p> <p>有機合成2月セミナー“有機合成のニュートレンド2023” (1月30日；大阪科学技術センター)</p>	<p>本部</p> <p>本部</p> <p>本部</p> <p>本部</p> <p>東北支部</p> <p>東北支部</p> <p>関西支部</p>	
<p>懇談会</p> <p>有機合成化学懇談会(日時・場所未定)</p> <p>2023新春特別フォーラム(1月18日；ワイム貸会議室+山の上ホテル)</p> <p>中堅・若手リーダーのためのYUGOKAF e (講演&amp; 討論会)：(日時・場所未定)</p> <p>「AIと有機合成化学」公開講演会(日時・場所未定)</p> <p>「ニューモダリティと有機合成化学」第2回公開講演会 (5月18日；東京工業大学デジタル多目的ホール)</p> <p>学生のためのセミナー(企業の若手研究者との討論・交流会)第8弾(日時・場所未定)</p> <p>海外・国内化学者講演会：随時</p> <p>有機合成化学協会創立80周年記念ポスト事業(日時・場所未定)</p> <p>第18回有機合成化学談話会(湯河原セミナー) (9月下旬；富士フィルム和光純薬(株)湯河原研修所)</p> <p>訪日学者講演会(10件；日時・場所未定)</p> <p>有機合成新春講演会(1月30日；大阪科学技術センター)</p> <p>セミナー化学千一夜“明日の化学への夢を語ろう”(6月頃・場所未定)</p> <p>第82回パネル討論会(5月；岡山大学)</p> <p>第83回パネル討論会または有機合成ミニシンポジウム2023(日時・場所未定)</p> <p>来日学者講演会(10件；随時)</p> <p>有機合成化学協会創立80周年記念ポスト事業(日時・場所未定)</p> <p>第20回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム(日時未定；広島大学)</p> <p>第1回有機合成化学講演会(6月2日；九州大学病院キャンパス；ハイブリッド開催)</p> <p>第60回化学関連支部合同九州大会(7月1日；北九州国際会議場)</p> <p>来日学者講演会(最大4件)</p>	<p>本部</p> <p>本部</p> <p>本部</p> <p>本部</p> <p>本部</p> <p>北海道支部</p> <p>東北支部</p> <p>関東支部</p> <p>東海支部</p> <p>関西支部</p> <p>関西支部</p> <p>中国四国支部</p> <p>中国四国支部</p> <p>中国四国支部</p> <p>中国四国支部</p> <p>他学会</p> <p>九州山口支部</p> <p>他学会</p> <p>九州山口支部</p>	<p>関東支部</p> <p>中国四国支部</p> <p>九州山口支部</p>
<p>見学会</p> <p>有機合成見学会(日時・場所未定)</p> <p>有機合成見学会(10月下旬または11月上旬；東ソー(株)周南市)</p>	<p>本部</p> <p>九州山口支部</p>	

表 6.3 令和 5 年度事業計画 (その 3)

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
<p>公2 関連会議</p> <p>事業委員会(5回; 3月,5月,7月,10月,12月)</p> <p>有機合成化学シンポジウムプログラム編成会議(2回)</p> <p>有機合成化学講習会企画委員会(2回)</p> <p>その他WG会議,研究部会幹事会(4回)</p> <p>有機合成化学談話会(湯河原セミナー)企画委員会(日時未定; 1回)</p>	<p>本部</p> <p>本部</p> <p>本部</p> <p>本部</p> <p>関東支部</p>	
公3. 表彰事業	担当組織	
<p>有機合成化学特別賞関連</p> <p>理事による予備投票(6~8月郵便); 委員会による選考(10月)</p>	協会賞等選考委員会	
<p>有機合成化学協会賞・奨励賞関連</p> <p>各支部推薦委員会(~7月)</p> <p>協会賞(技術)・奨励賞書面審査(7月; 郵便)</p> <p>協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会(10月)</p>	<p>各支部</p> <p>協会賞等選考委員会</p> <p>協会賞等選考委員会</p>	
<p>Mukaiyama Award関連会議</p> <p>Mukaiyama Award委員会(選考委員会)</p>	Mukaiyama Award委員会	
<p>企業冠賞関連</p> <p>カネカ「生命科学賞」書面審査(郵便)</p> <p>東ソー「環境エネルギー賞」書面審査(郵便)</p> <p>日産化学「有機合成新反応/手法賞」書面審査(郵便)</p> <p>富士フイルム「機能性材料化学賞」書面審査(郵便)</p> <p>令和4年度企業冠賞講演会(2022年度受賞講演)(日時・場所未定)</p>	<p>左記選考委員会</p> <p>左記選考委員会</p> <p>左記選考委員会</p> <p>左記選考委員会</p> <p>本部</p>	
<p>高砂香料国際賞「野依賞」関連</p> <p>野依賞委員会(選考委員会)</p>	野依賞委員会	
<p>支部表彰</p> <p>第21回支部賞授賞講演会(日時・場所未定)</p> <p>有機合成化学特別講演会(支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会)(11月; 広島大学)</p> <p>支部各賞選考委員会(6月2日; 九州大学病院キャンパス)</p> <p>第33回万有福岡シンポジウム(6月3日; 九州大学)</p> <p>第2回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式(10月下旬-11月上旬; 東ソー(株)周南市; ハイブリッド開催)</p>	<p>関西支部</p> <p>中国四国支部</p> <p>九州山口支部</p> <p>他学会・九州山口支部</p> <p>九州山口支部</p>	
他1(共益事業)		
技術アドバイス事業	本部	
ゆうごう会(日時未定: 東京、大阪各1回)	本部	
海外視察団派遣(日時・場所未定)	本部	
<p>研究企画賞</p> <p>研究企画賞選考委員会</p>	研究企画賞選考委員会	
法人運営関連会議		
<p>本部関連</p> <p>第86回通常総会(定期社員総会; 2月15日)</p> <p>運営委員会、理事会、理事会分科会(1,2,4,6,9,12月)</p> <p>令和6年度役員候補者選出委員会(10月)</p> <p>創立80周年記念事業委員会(組織委員会・実行委員会・出版委員会・財務委員会)</p> <p>令和6-7年度代議員選出委員会</p>	<p>本部</p> <p>本部</p> <p>本部</p> <p>本部</p> <p>本部</p>	

表 6・4 令和 5 年度事業計画 (その 4)

事業の名称・事業の概要	担当組織
法人運営関連会議(つづき)	
支部関連	
第1回幹事会(7月・場所未定)	北海道支部
第2回幹事会(11月・場所未定)	北海道支部
第1回常任幹事会・第1回幹事会(4月28日; 東京理科大学神楽坂キャンパス)	関東支部
第2回常任幹事会(7月; 場所未定)	関東支部
第3回常任幹事会(10月; 場所未定)	関東支部
第4回常任幹事会(12月; 場所未定)	関東支部
協会賞等支部推薦委員会(7月; 場所未定)	関東支部
常任幹事会(2月; 名古屋)	東海支部
支部総会(日時未定; 三重大学)	東海支部
支部奨励賞選考委員会(4月; メール会議)	東海支部
協会賞等支部推薦委員会(日時未定; メール会議)	東海支部
第1回幹事会(3月上旬頃、場所未定)	関西支部
第2回幹事会(4月下旬頃、場所未定)	関西支部
第3回幹事会(7月中旬頃、場所未定)	関西支部
第4回幹事会(11月頃、場所未定)	関西支部
2023年度第1回幹事会・懇話会合同会議(5月; 岡山大学)	中国四国支部
2023年度第2回幹事会・懇話会合同会議(11月; 広島大学)	中国四国支部
事務引継会(1月下旬-2月; 九州大学病院キャンパス; ハイブリッド開催)	九州山口支部
第1回幹事会(6月2日; 九州大学病院キャンパス; ハイブリッド開催)	九州山口支部
第2回幹事会(10月下旬-11月上旬; 東ソー(株)周南市; ハイブリッド開催)	九州山口支部

### 報告 3 令和 5 年度収支予算

令和 5 年度収支予算について、以下のとおり報告する。

- 1) 会費収入 前年予算比▲648 千円：実情に合わせて計上
- 2) 表彰事業  
企業冠賞 5 社から 4 社に減
- 3) 退職給付費用(積立金) 3,404 千円：必要額満額を計上
- 4) 創立 80 周年記念事業関連：流動資産から 10,000 千円を拠出  
編集出版事業；研究会事業；懇親会費へそれぞれ計上
- 5) 懇親会は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら計画

表 7-1 令和 5 年度正味財産増減予算書

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

(単位：円)

科 目	令和5年度 A	【参考】令和4年度		増減 D A-B	増減 E A-C
		予算 B	決算 C		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
【特定資産運用益】					
特定資産受取利息	802,500	805,500	824,510	▲ 3,000	▲ 22,010
退職給付特定資産受取利息	1,000	7,000	1,034	▲ 6,000	▲ 34
【受取会費】					
正会員受取会費	64,100,000	64,747,500	63,796,500	▲ 647,500	303,500
【事業収益】					
編集出版事業収益	14,295,000	12,926,700	15,561,672	1,368,300	▲ 1,266,672
研究会事業収益	31,227,000	35,834,000	19,833,702	▲ 4,607,000	11,393,298
表彰事業収益	6,700,000	8,100,000	8,350,000	▲ 1,400,000	▲ 1,650,000
【受取寄付金】					
受取寄付金	5,390,000	6,350,000	4,432,997	▲ 960,000	957,003
【雑収益】					
受取利息	2,323	2,816	774	▲ 493	1,549
雑収益	50,000	50,000	60	0	49,940
懇親会参加料収益	4,130,000	2,030,000	474,287	2,100,000	3,655,713
経常収益計	126,697,823	130,853,516	113,275,536	▲ 4,155,693	13,422,287
(2) 経常費用					
【事業費および管理費】					
編集出版事業費	31,860,289	24,895,271	23,082,505	6,965,018	8,777,784
研究会事業費	36,972,314	36,732,314	22,649,613	240,000	14,322,701
表彰事業費	12,464,377	13,502,377	10,710,152	▲ 1,038,000	1,754,225
給料手当	30,135,788	29,040,143	28,938,856	1,095,645	1,196,932
アルバイト費	2,580,000	2,560,000	2,620,399	20,000	▲ 40,399
退職給付費用	3,404,454	3,161,145	3,162,179	243,309	242,275
その他人件費（福利厚生費）	6,508,127	6,357,070	6,256,431	151,057	251,696
会議費	1,303,000	1,335,000	1,027,043	▲ 32,000	275,957
旅費交通費	3,465,000	3,465,000	1,753,499	0	1,711,501
通信費	1,341,500	1,346,500	632,732	▲ 5,000	708,768
什器備品費	200,000	200,000	0	0	200,000
事務用品・リース費	2,000,000	2,000,000	1,447,711	0	552,289
水道光熱費	290,000	290,000	166,678	0	123,322
事務所賃借料	4,928,988	4,928,988	4,928,988	0	0
諸謝金	1,200,000	1,200,000	1,210,000	0	▲ 10,000
懇親会費	6,530,000	3,880,000	1,066,909	2,650,000	5,463,091
雑費（税・手数料・会費・IT）	5,366,100	6,464,300	7,550,199	▲ 1,098,200	▲ 2,184,099
経常費用計	150,549,937	141,358,109	117,203,894	9,191,828	33,346,043
当期経常増減額	▲ 23,852,114	▲ 10,504,593	▲ 3,928,358	▲ 13,347,521	▲ 19,923,756
2. 経常外増減の部					
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
一般正味財産増減額	▲ 23,852,114	▲ 10,504,593	▲ 3,928,358	▲ 13,347,521	▲ 19,923,756
一般正味財産期首残高	299,491,291	303,419,649	303,419,649	▲ 3,928,358	▲ 3,928,358
一般正味財産期末残高	275,639,177	292,915,056	299,491,291	▲ 17,275,879	▲ 23,852,114
II 指定正味財産増減の部					
【特定資産運用益】野依賞基金					
特定資産受取利息	50	50	64	0	▲ 14
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 4,000,000	▲ 4,000,000	▲ 2,290,715	0	▲ 1,709,285
当期指定正味財産増減額	50	50	1,709,349	0	▲ 1,709,299
指定正味財産期首残高	9,980,890	8,271,541	8,271,541	1,709,349	1,709,349
指定正味財産期末残高	9,980,940	8,271,591	9,980,890	1,709,349	50
【特定資産運用益】Mukaiyama Award基金					
特定資産受取利息	100	100	56	0	44
受取寄付金	1,000,000	0	0	1,000,000	1,000,000
一般正味財産への振替額	▲ 1,200,000	▲ 1,200,000	▲ 1,259,259	0	59,259
当期指定正味財産増減額	▲ 199,900	▲ 1,199,900	▲ 1,259,203	1,000,000	1,059,303
指定正味財産期首残高	4,234,696	5,493,899	5,493,899	▲ 1,259,203	▲ 1,259,203
指定正味財産期末残高	4,034,796	4,293,999	4,234,696	▲ 259,203	▲ 199,900
III 正味財産期末残高	289,654,913	305,480,646	313,706,877	▲ 15,825,733	▲ 24,051,964

表 7・2 令和 5 年度正味財産増減予算書内訳表( 1 / 2)

(令和5年1月1日から令和5年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1 編集・出版	公2 研究会	公3 表 彰	公益事業共通			
1 【一般正味財産増減の部】							
2 1. 経常増減の部							
3 経常収益計	14,296,500	31,178,000	11,600,000	50,639,000	3,263,000	15,721,323	126,697,823
4 特定資産運用益	1,500	1,000	800,000	0	0		802,500
5 編集出版特定資産受取利息	1,500						
6 研究会特定資産受取利息		1,000					
7 表彰特定資産受取利息			800,000				
8 退職特定資産受取利息	0	0	0	0	0	1,000	1,000
9 受取会費				50,639,000	1,923,000	11,538,000	64,100,000
10 個人会員費受取会費				25,613,775	972,675	5,836,050	32,422,500
11 法人会員費受取会費				23,139,100	878,700	5,272,200	29,290,000
12 団体会員費受取会費				126,400	4,800	28,800	160,000
13 学生会員費受取会費				1,759,725	66,825	400,950	2,227,500
14 事業収益	14,295,000	30,987,000	5,600,000	0	1,340,000		52,222,000
15 編集出版事業収益	14,295,000						14,295,000
16 会誌事業収益	3,519,000						3,519,000
17 広告事業収益	10,248,000						10,248,000
18 別冊事業収益	35,000						35,000
19 会誌関係雑収益	70,000						70,000
20 単行本印税収益	150,000						150,000
21 複写権使用料収益	273,000						273,000
22 研究会事業収益		30,987,000			240,000		31,227,000
23 シンポジウム事業収益		18,425,000					18,425,000
24 講習会事業収益		7,640,000					7,640,000
25 懇談会事業収益		4,672,000			240,000		4,912,000
26 見学会事業収益		250,000					250,000
27 表彰事業収益			5,600,000	0	1,100,000		6,700,000
28 企業冠賞事業収益			5,600,000	0			5,600,000
29 研究企画賞事業収益					1,100,000		1,100,000
30 その他表彰事業収益							0
31 寄付金収益		190,000	5,200,000	0		0	5,390,000
32 受取寄付金		190,000	5,200,000	0			5,390,000
33 雑収益		0				4,182,323	4,182,323
34 受取利息		0				2,323	2,323
35 雑収益		0				50,000	50,000
36 懇親会参加料収益						4,130,000	4,130,000
37 経常費用	51,782,514	61,238,508	18,267,951		3,350,129	15,910,836	150,549,937
38 事業費	51,782,514	61,238,508	18,267,951		3,350,129		134,639,102
39 編集出版事業費	31,860,289						31,860,289
40 印刷製本費	18,745,991						18,745,991
41 用紙費	3,550,491						3,550,491
42 原稿料・校正費	696,000						696,000
43 編集費	843,715						843,715
44 送達費	6,814,493						6,814,493
45 別冊作成費	283,500						283,500
46 電子出版費	926,100						926,100
47 研究会事業費		36,713,314			259,000		36,972,314
48 シンポジウム費		22,901,200					22,901,200
49 講習会費		5,586,314					5,586,314
50 懇談会費		4,036,200			259,000		4,295,200
51 見学会事業費		250,000					250,000
52 研究会議費		508,600					508,600
53 事務委託費		2,921,000					2,921,000
54 支払寄付金		510,000					510,000
55 表彰事業費			12,341,077		123,300		12,464,377
56 表彰事業費			2,319,077				2,319,077
57 企業冠賞費用			4,822,000				4,822,000
58 研究企画賞費					123,300		123,300
59 国際賞費用			4,000,000				4,000,000
60 Mukaiyama Award事業費			1,200,000				1,200,000
61 給料手当	10,544,512	12,054,315	3,013,579		1,509,803		27,122,209
62 アルバイト費	1,003,104	1,146,552	286,638		143,706		2,580,000
63 退職給付費用	1,191,218	1,361,782	340,445		170,563		3,064,009
64 その他人件費（福利厚生費）	2,277,194	2,603,251	650,813		326,057		5,857,314
65 会議費	240,000	360,000	80,000		40,000		720,000
66 旅費交通費	618,000	927,000	206,000		103,000		1,854,000
67 通信費	360,000	540,000	120,000		60,000		1,080,000
68 什器備品費	60,000	90,000	20,000		10,000		180,000
69 事務用品・リース費	600,000	900,000	200,000		100,000		1,800,000
70 水道光熱費	87,000	130,500	29,000		14,500		261,000
71 事務所賃借料	1,478,696	2,218,045	492,899		246,449		4,436,089
72 雑費（税・手数料・会費・IT）	1,462,500	2,193,750	487,500		243,750		4,387,500

表 7・3 令和 5 年度正味財産増減予算書内訳表(2/2)

(令和5年1月1日から令和5年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1 編集・出版	公2 研究会	公3 表 彰	公益事業共通			
73 管理費						15,910,836	15,910,836
74 給料手当						3,013,579	3,013,579
75 退職給付費用						340,445	340,445
76 その他人件費（福利厚生費）						650,813	650,813
77 懇親会費用						6,530,000	6,530,000
78 会議費						583,000	583,000
79 旅費交通費						1,611,000	1,611,000
80 通信費						261,500	261,500
81 什器備品費						20,000	20,000
82 事務用品・リース費						200,000	200,000
83 水道光熱費						29,000	29,000
84 事務所賃借料						492,899	492,899
85 諸謝金						1,200,000	1,200,000
86 雑費（税・手数料・会費・IT）						978,600	978,600
87 当期経常増減額	▲ 37,486,014	▲ 30,060,508	▲ 6,667,951	50,639,000	▲ 87,129	▲ 189,513	▲ 23,852,114
88 2. 経常外増減の部							
89 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
90 計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
91 当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
92 3. 一般正味財産増減額							
93 一般正味財産期首残高							299,491,291
94 一般正味財産期末残高							275,639,177
95 当期一般正味財産増減額							▲ 23,852,114
96 【指定正味財産増減の部】							
97 1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金							
98 指定正味財産運用益			50				50
99 特定資産受取利息			50				50
100 受取寄付金			4,000,000				4,000,000
101 一般正味財産への振替額			▲ 4,000,000				▲ 4,000,000
102 指定正味財産期首残高			9,980,890				9,980,890
103 指定正味財産期末残高			9,980,940				9,980,940
104 2. Mukaiyama Award基金							
105 指定正味財産運用益			▲ 199,900				▲ 199,900
106 特定資産受取利息			100				100
107 受取寄付金			1,000,000				1,000,000
108 一般正味財産への振替額			▲ 1,200,000				▲ 1,200,000
109 指定正味財産期首残高			4,234,696				4,234,696
110 指定正味財産期末残高			4,034,796				4,034,796
111 【正味財産期末残高】							
112 正味財産期末残高							289,654,912

報告 4 永年会員昇格者

定款第 5 条第 4 項および会員規程第 4 条の定めにより、普通会员(個人)として連続 20 年以上在籍し、かつ、満 75 歳に達した次の者を令和 5 年度より永年会員とする（入会順；敬称略）。

山下 史朗	入江 邦彦	本多 利雄	小林 進	松山 春男	佐治 幾太郎
大島 幸一郎	伊古田 暢夫	水野 一彦	今江 清人	篠崎 開	富岡 清
福山 愛保	鈴木 正昭	平間 正博	高橋 孝志	石井 啓太郎	長瀬 博
夏苺 英昭					

以上 19 名

その他議案があれば挙手の上ご報告ください。

以上

